

「脱・下請け」をめざす 中小企業のための知財活用法

～自社事業のアピール力を高める“知財ミックス”とは～

産業構造の転換が進む中、「脱・下請け」を目指す中小企業の経営戦略として、いま改めて「知的財産」が注目されています。知財はどの企業にも存在し、中小企業こそ活用すべき資産です。本セミナーでは「知財ミックス戦略」をキーワードに、具体的な実例を交えながら解説いたします。「自社技術をブランド化」、「新規事業創出」を目指す企業の皆さま、ぜひこの機会にご参加ください！



知財ミックスとは？

自社の製品やサービスを、複数の種類の知的財産権（特許×商標、特許×意匠等）で多面的に保護する戦略のこと。
活用することでより自社事業のアピール力、ブランド力を高める、効果的な経営戦略です。

会員
無料

日 時：2022年5月27日(金) 15:00～16:30

参加方法：▶会場参加 名古屋商工会議所 3F 第6会議室
▶オンライン参加 WEB会議システムZoomで配信

※新型コロナウイルスの感染状況で開催方法を変更する場合がございます。

内
容

15:00～15:30 第1部「知財＝発明？ 知財＝テック＋デザイン＋ブランド」
特許業務法人明成国際特許事務所 パートナー弁理士 井上 佳知 氏



祖父の影響もあり、中学生の頃から弁理士となる将来像を描き、1992年に弁理士試験に合格。
1996年～1998年の2年間、シリコンバレーの米国特許事務所に勤務し、米国文化並びに米国特許実務を肌で感じる。
2015年から明成国際特許事務所の代表パートナー。
2019年度から、日本弁理士会東海会の知財金融対応委員会の初代委員長として、中小企業に対する知財支援を進める。
知財の必要性や知財は身近にあることを伝えることの難しさを実感し、目線のあった支援を実現すべく活動中。

15:30～16:00 第2部「身近なところに発明が！中小企業による知的財産の発掘！」
株式会社五合 代表取締役 小川 宏二 氏



電機メーカーに勤め、電子制御機器の製造などに携わる。製品の改善提案や発明好きが高じ、34歳の時に独立を決意し、2000年に人材育成や生産管理のコンサルティング業をスタート。
その後、コンサル業で培ってきた塗装技術のノウハウを足掛かりに、創業時に目指していた開発志向のものづくり企業へと転換。
特殊塗装技術「ゼロ・クリア」は、特許だけでなく商標も取得し、技術の認知度アップに成功。
一般消費者向け製品の新しい事業創出など、積極的に知財を経営戦略に活用している。

16:00～16:20 トークセッション（井上 佳知 氏 × 小川 宏二 氏）
16:20～16:30 質疑応答

申込・締切

WEBサイトよりお申込みください。5月13日（金）締切・先着順
<https://answer.cci.nagoya/it/?code=d34ab111>

定 員
参加費

会 場 30名
参加費 名古屋商工会議所並びに愛知県発明協会 会員：無料
非会員：5,000円／人

詳 細

名古屋商工会議所HP内の詳細ページをご覧ください。
<https://www.nagoya-cci.or.jp/event/event-detail.html?eid=3638>

問 合 せ

名古屋商工会議所 産業振興部 柳原
TEL:052-223-5640／E-mail: yanagihara@nagoya-cci.or.jp

◆お申込みいただきました情報は、講師等への情報提供、当所からの各種連絡のために利用いたします。

WEB申込サイト



HP（詳細）

